

商用車、輸入車向けの再生部品を拡充

ジャリパルト

ジャパンリビルト（田中勝弘社長、大阪府堺市）は、商用車や輸入車向けリビルト部品の品揃えを拡充する。他社との差別化戦略を進めるのが

狙いで、特に小型トラック向けの部品や輸入車の駆動系部品などのラインアップを増やす。同社は両分野でも豊富な在庫量を強みにすることで、

価格競争に巻き込まれにくい商品領域での部品販売を引き上げる。

同社はリビルト部品の内製化工場を持ち、低コストで品質の高い商品供給を進めている。コアの在庫は20万台にも上り、これまで様々な顧客ニーズにこたえてきた。その中で今年は2〜4トの小型トラッ

クの品揃えを強化。今後もエンジンや変速機（トランスミッション）、電装部品、パワーステアリング、触媒など完成在庫数を増やす計画だ。

価格競争が激しい商品領域での差別化戦略も強化する。例えば、回転軸（ドライブシャフト）では「輸入車や四輪駆動車の後輪など他社が手掛

けないような部品も在庫していく」（同社）という。同社は低価格競争下の商品提供ではなく、市場規模は小さくともニーズのあるリビルト部品を提供することで、販売量拡大とリピーターの創出につなげる。